

# 星天ニュース

第9号

発行日：平成20年9月18日

発行：横浜市道路局

編集：相模鉄道株式会社

～相鉄線の連続立体交差事業のお知らせです。～

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は、星川駅の仮3番線切替え工事と旧駅舎解体工事（南口外階段撤去）についてお知らせいたします。

## 星川駅3番線の切替え工事について

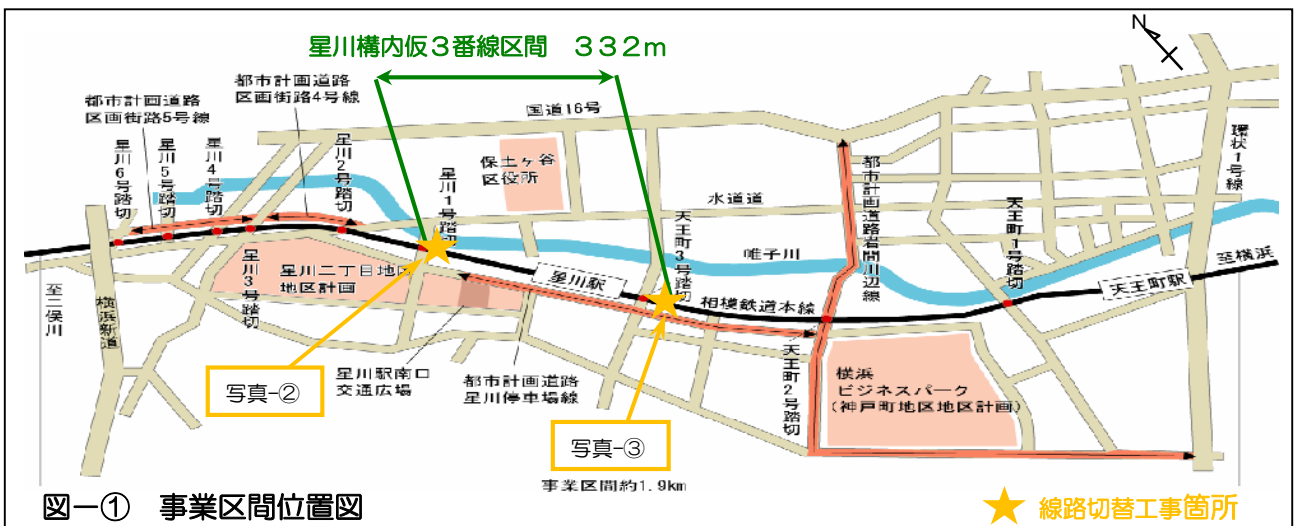
**10/24(金)の夜間に星川駅3番線の切替え工事を行います。**

**また、10/25(土)の始発より3番線が本線、4番線が待避線となります。**

以前よりお知らせしてまいりました、現在の3番線を北側の仮3番線に切替える工事の日程が決定いたしました。

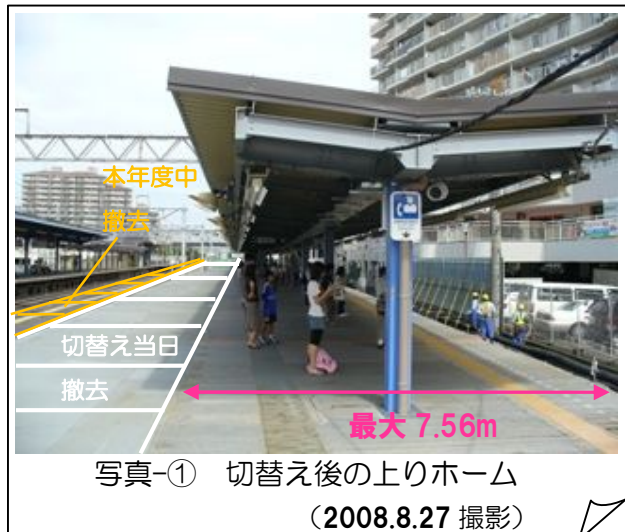
**工事日程：平成20年10月24日(金) 21:00～25日(土) 6:00（始発列車前）**

（荒天時は、10月31日(金)～11月1日(土)の同時間に延期して工事を実施いたします。）



工事当日は、図-①の2箇所（★印の箇所）において事前に敷設している仮3番線路への切替え工事、現在の3番線に使用している分岐器（ポイント）※の撤去（写真-②、③参照）、上りホームの縮小工事などを行います（写真-①参照）。上りホームの縮小工事では、仮3番線上のホーム床部分を撤去するため、ホームの幅が昨年11月の仮4番線切替え前と同程度（最大7.56m/最小2.75m）となります。

また、切替え後の上りホームでは、3番線に代わり仮4番線が急行の通過待ちや快速の接続待ちをする待避線となり、仮3番線が本線路に切替ります。（※分岐器については裏面の豆知識参照）

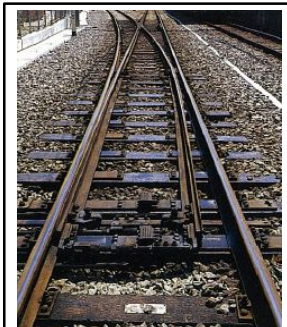




### ホシテン豆知識(その4) 分岐器(ポイント)について

分岐器は軌道上にある車両を他の軌道に分岐させる、あるいは他の軌道に交差させるための装置であり、列車の運行において重要な役割を担っており、電気により転換させ、列車の進路を導いています。

分岐器には、列車の進行方向に応じて様々な種類がありますが、今回の仮3番線の切替えにおいては、片開き分岐器というものを採用しています。片開き分岐器は、直線の線路から右側または左側に分かれる線路構造で分岐器の基本形といえます。



片開き分岐器

## 星川旧駅舎解体工事について 星川駅旧駅舎の解体がほぼ完了しました。

以前より行ってまいりました星川旧駅舎の解体・撤去が一部(南口外階段)を除いて完了し、これに伴い、下りホームの仮上屋の施工も完了いたしました(写真-④参照)。旧駅舎解体・撤去時には、騒音や雨天時の雨漏りなどでご迷惑をおかけいたしました。皆様のご理解ご協力により撤去が無事完了いたしました。あらためて深く感謝いたします。今後は、引き続き南口外階段の解体を行っていき、10月中旬頃に解体がすべて完了する予定です。



**切替え当日は、作業の性質上、皆様に騒音等のご迷惑をおかけすることになります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。**



～お問合せ～

- 事業に関するお問合せ …… 横浜市 道路局 計画調整部 企画課 鉄道交差調整担当  
Tel 045 (671) 2792
- 工事に関するお問合せ …… 相模鉄道株式会社 鉄道カンパニー  
星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所  
Tel 045 (335) 6733

ホームページアドレス：<http://www.sotetsu.co.jp/train/crossover/>